

かごしま未来創造ビジョンの見直しの考え方

■ かごしま未来創造ビジョンの見直しの趣旨

- デジタル・トランスフォーメーションの推進，SDGsやカーボンニュートラル，新型コロナウイルス感染症対策に係る取組等が重要になってくるなど，昨今の社会経済情勢の変化等，時代の潮流に柔軟に対応するため所用の見直しを実施

■ かごしま未来創造ビジョンの見直しの進め方

- 策定からこれまでの3年間における社会経済情勢の変化等を踏まえた現状・課題と必要な対応を中心に，マニフェストの内容を織り込みながら，鹿児島のあるべき将来像を描いた上で，施策の方向性を検討
- 進め方にあたっては，バックカスティングの考えを取り入れながら，望ましい未来と現状との間のギャップを把握し，将来の社会像を具体的に検討するなど，デジタル・トランスフォーメーションやSDGs，カーボンニュートラルなどの新たな時代の潮流を踏まえながら，中長期的な視点で将来像を描いたうえで見直しを実施

■ 鹿児島県の将来像（目指す姿）

※「人」「暮らし」「産業」を基本とする考え方を継続

将来

県政における様々な取組を通じて，鹿児島県の「稼ぐ力」の向上に努めるとともに，自然環境に配慮しつつ，経済を持続的に発展させることで，地域の格差を是正し，県民所得の向上を図り，県民の皆様の暮らしと雇用を守りたいと考えております。
また，結婚・出産・子育てしやすい環境の整備や高齢者が健やかで生きがいを持てる社会の形成などに取り組み，これらを基盤として，高齢者や女性，障害者，子どもなど，誰もが安心して暮らし，活躍できる鹿児島県をつくってまいります。

【令和3年第1回県議会定例会施政方針】

■ 鹿児島県の目指す姿（H30.3時点）

- ひとが輝く鹿児島
～地域に誇りを持ち多彩な個性と能力を発揮～
- ひとが潤う鹿児島
～どこよりも幸せを実感～
- ひとを魅了する鹿児島
～元気な産業と世界に選ばれる逸品の創出～

施策展開の基本方向の再検討

施策展開の基本方向（12本の柱） （H30.3時点）

将来と現在のギャップの把握をしながら，具体的な施策の展開を検討

新たな時代の潮流を踏まえた鹿児島県の現状と課題

現在

新たな時代の潮流

見直し

具体的見直し作業

鹿児島県の現状と課題（H30.3時点）

新たな時代の潮流例

新型コロナウイルス感染症，DX，カーボンニュートラル，ジェンダー，外国人労働者，働き方の多様化，社会インフラの老朽化，SDGs等